

## 会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	永野 忍
担当業務	理事

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10月4日（土） 10月10日（金） 10月11日（土） 11月30日（日） 12月6日（土）		第5回理事会 60周年記念式典・祝賀会 組織運営協議会 第34回山口県理学療法学会大会開会式 第3回理事懇談会・第6回理事会（臨時）	WEB 東京プリンスホテル 協会会館 下関生涯学習プラザ WEB
所感	<p>・若手理学療法士が将来を見据えて主体的に関与し、協会活動や社会への発信力を高めていく足場作りや指定規則改正をはじめとした様々な制度的課題について、単年度の対応にとどまらず、中長期的な方向性と具体的な工程を会員に明示し、共有していくことが協会の責務であることから、今後も積極的に働きかけていく。</p> <p>・協会と都道府県理学療法士会が相互に情報共有を図りながら、国民の健康支援のあり方や会員の多様なニーズに即した協会運営を、協働により構築していくことが重要であるとする。中央と地域が一体となった組織運営は、持続可能な専門職団体としての基盤強化につながるもの考える。</p> <p>・第34回山口県理学療法学会大会では、開会式において会長挨拶を代読した。同大会は盛会裏に開催され、テーマである「食べるを支える理学療法」が示すとおり、栄養・嚥下・生活支援といった健康支援の根幹に、理学療法士が積極的に関与する重要性が再確認された。学会大会は、臨床と研究を結びつけ、地域に根ざした実践を深化させる場として大きな意義を有していると考え。</p> <p>・協会役員および事務職員が専門性と意欲をもって継続的に活動できるよう、キャリア形成の妨げとならない、時代に即した制度設計を進めていくことの重要性を再認識した。</p> <p>・日本理学療法士協会 60周年記念式典では、理学療法業務功労者に対する厚生労働大臣表彰が執り行われ、今日の理学療法の発展を築いてこられた先人の皆様に、深い敬意と感謝の意を表する機会となった。</p>		

報告日	2026 年 1 月 22 日
-----	-----------------

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。